

2019 年度 事業報告



特別養護老人ホーム オレンジタウン笠寺
ショートステイ オレンジタウン笠寺
オレンジタウン笠寺 デイサービスセンター
特別養護老人ホーム オレンジタウン笠寺Ⅱ

1. 理念

住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けられる町づくりをめざして

2. 基本方針

(1) 地域に根ざし、地域包括ケアシステムの一端を担う

重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後までつづけることができるよう、地域社会と連携して町づくりに参画していく。

(2) ICF モデルの視点に立ったケアの提供

利用者の生活歴や生活機能の把握に努め、「している“活動”」の向上を目指し、結果として「その方らしい生活」を提供していく。

3. 行動指針 — 私たちの行動3か条 — (令和1年度策定)

私たちはその人らしい暮らしをサポートします

私たちは常に温かく支えあうチームを目指します

私たちは地域と一緒にこの町をハッピーにします

4. 令和1年度 事業経過

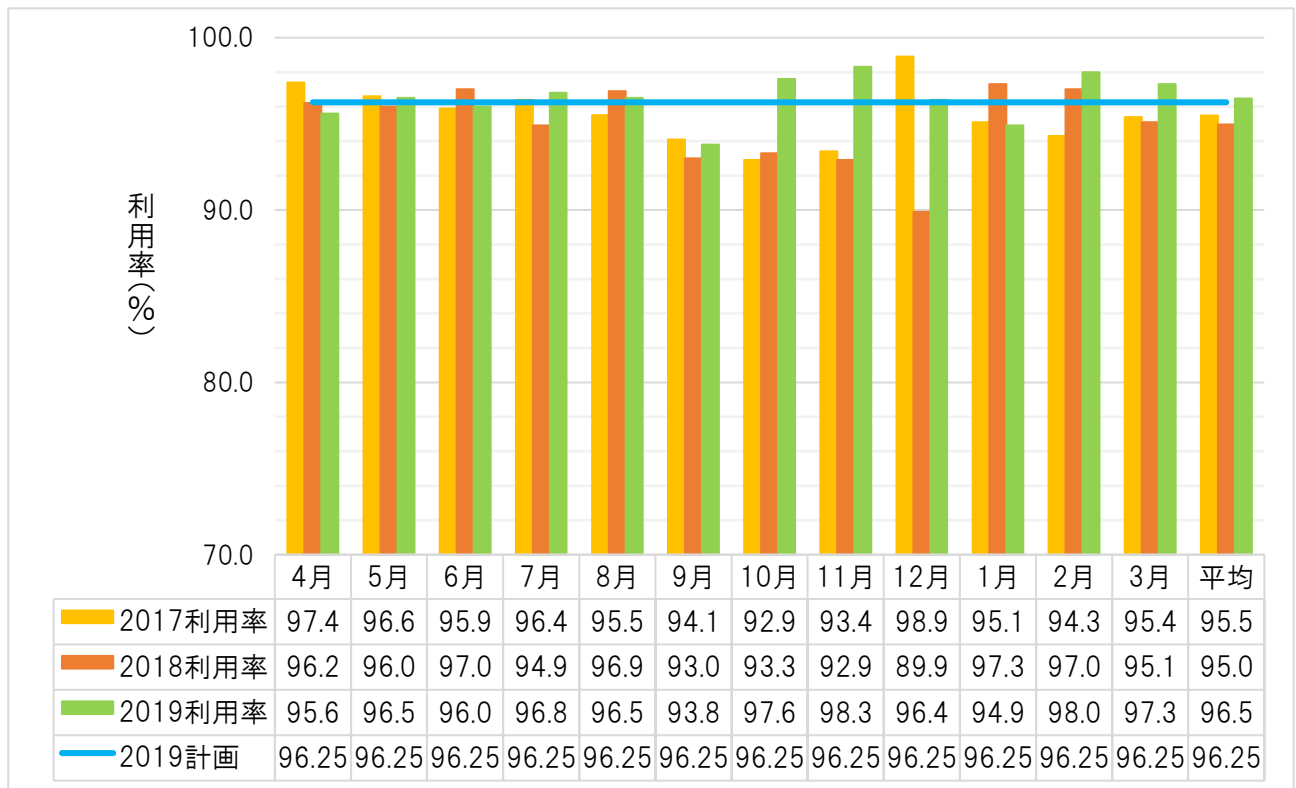
月	日	オレンジタウン笠寺	オレンジタウン笠寺Ⅱ
4月	1日	入職式	入職式・施設開設
		行事食「お花見御膳」	
	3日		5F入居開始
	12日		4F入居開始
	23日		3F入居開始
5月	5日	行事食「端午の節句」	
	7~31日	あいち福祉医療専門学校介護福祉学科 特養介護実習(4名)	
	10日	物故者慰霊祭	
	16日		消防訓練
	17日	笠寺学区民生児童委員協議会 施設見学	
	20日	新瑞橋イオン外出レクリエーション	
	23日	監事監査	
	27日	第1回理事会	
6月	4日		2F入居開始

月	日	オレンジタウン笠寺	オレンジタウン笠寺Ⅱ
6月	5日	消防訓練	
	7日	郷土料理の日「北海道」	
	12日	名古屋市老人ホーム交歓輪投げ大会	
		第2回理事会・定時評議員会	
	18～19日	おやつレク「梅ジュースづくり」	
	20日	名古屋市指導監査・実地指導	
30日	春日野学区民生児童委員協議会 施設見学		
7月	7日	行事食「七夕」	
	8～12日	名古屋市立大学看護学部 ダイサービス実習(1名)	
			名古屋港まつり花火鑑賞
	16日	夏の夕べ弾き語りコンサート	
	27日	行事食「土用の丑の日」	
8月	20日	おやつレク「プリンデコレーション」	
	24日	郷土料理の日「岐阜」	
9月	2～28日	あいち福祉医療専門学校介護福祉学科 特養介護実習(3名)	
	16日	行事食「敬老の日」	
	17～20日		敬老会「秋のお茶会」
	24日	第3回理事会	
18～21日	流しそうめん会(特養・ショート)		
10月	1～4日	流しそうめん会(ダイサービス)	
	14日	行事食「体育の日」	
	25日		名古屋市指導監査・実地指導
11月	6日		サツマイモ掘り
	12～17日	みずほフェスタ作品展出品	
	17日	第3回 秋まつり 行事食「てこね寿司」	
	11～23日	あいち福祉医療専門学校介護福祉学科 ダイサービス介護実習(4名)	
27日	消防訓練		
12月	1日	善常会研究会(2演題発表)	
	3日		おやつレク「焼き芋」
	18日	おやつレク「フルーチェ」	
	19～21日	ゆず湯	
	22日	行事食「冬至」	
		南区「ここバリ作品展 2019」出品	

月	日	オレンジタウン笠寺	オレンジタウン笠寺Ⅱ
	22.23 日		クリスマス会
	25 日	行事食「クリスマス」	
	31 日	行事食「大晦日」	
1 月	1～3 日	行事食「お正月」	
	7 日	行事食「人日の節句」	
	14 日	新年安全祈願祭(七所神社)	
	15 日	第 4 回理事会	
	16～17 日	名古屋市立本城中学校職業体験受入 (中学 2 年生 6 名)	
	20 日	評議員選任解任委員会 行事食「鏡開き」	
2 月	2～3 日	節分会	
	3 日	行事食「節分」	
3 月	3 日	行事食「ひなまつり」	
			ひなまつり会
	25 日	第 5 回理事会	
			書道
27 日	消防訓練(コロナ禍のため全館放送による啓蒙)		
毎月		誕生日食(月 1 回)	
		オレンジカフェ(月 1 回)	

5. 運営状況

①特別養護老人ホームオレンジタウン笠寺 介護老人福祉施設(ユニット型 定員 80 名)

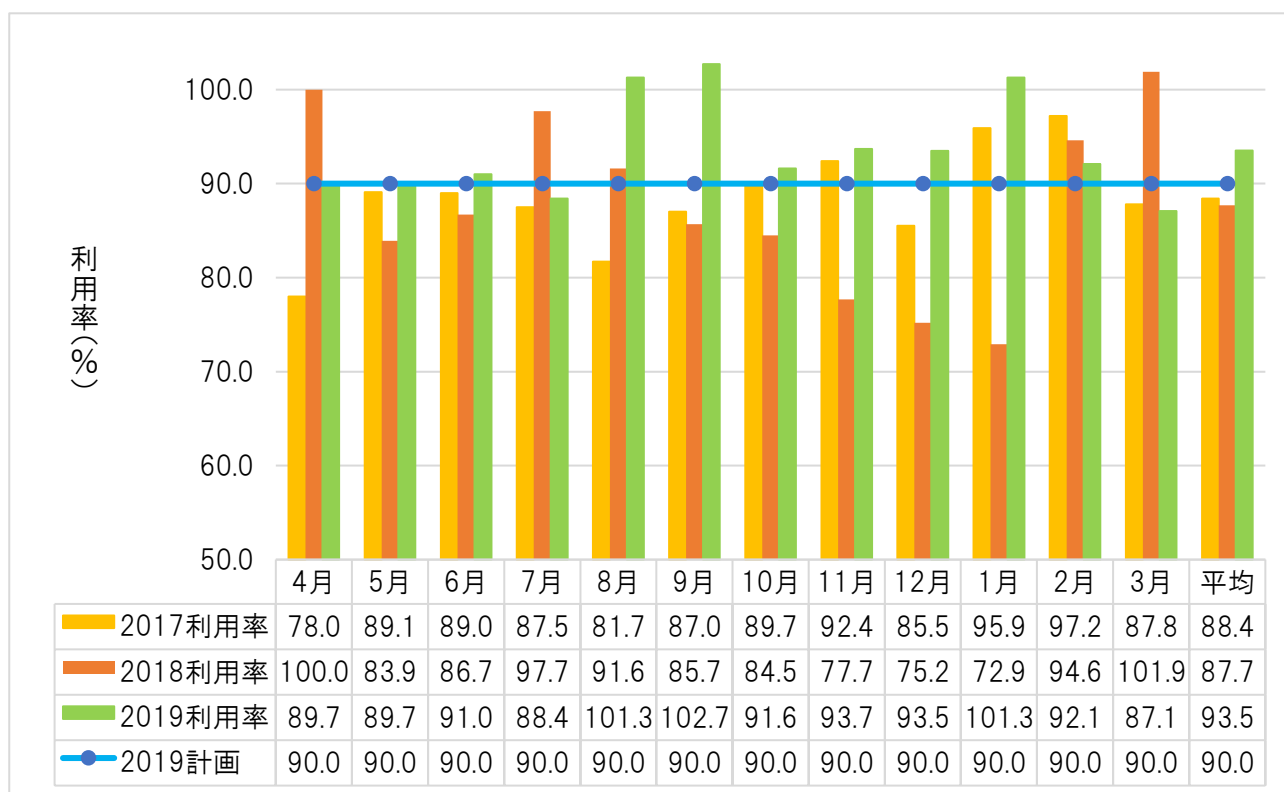


- ・今年度の利用率は **96.5%** とほぼ計画通りとなった。ACP の取り組みも行っているが、病院での精査、治療を希望される等で、一定の入院者がある。
- ・今年度末現在、入居者の平均年齢は **85.7 歳**、平均入居期間は **908 日**、平均介護度は **4.0**。
- ・資金収支実績 (単位：千円)

事業活動収入計	419,173	事業活動外収入	986
事業活動支出計	358,896	事業活動外支出	42,912
事業活動資金収支差額	60,277	事業活動外資金収支差額	△41,926
(対収入比)	14.4%	当期資金収支差額合計	18,352

②ショートステイオレンジタウン笠寺

短期入所生活介護(ユニット型 定員 10 名 介護予防短期入所生活介護含む)

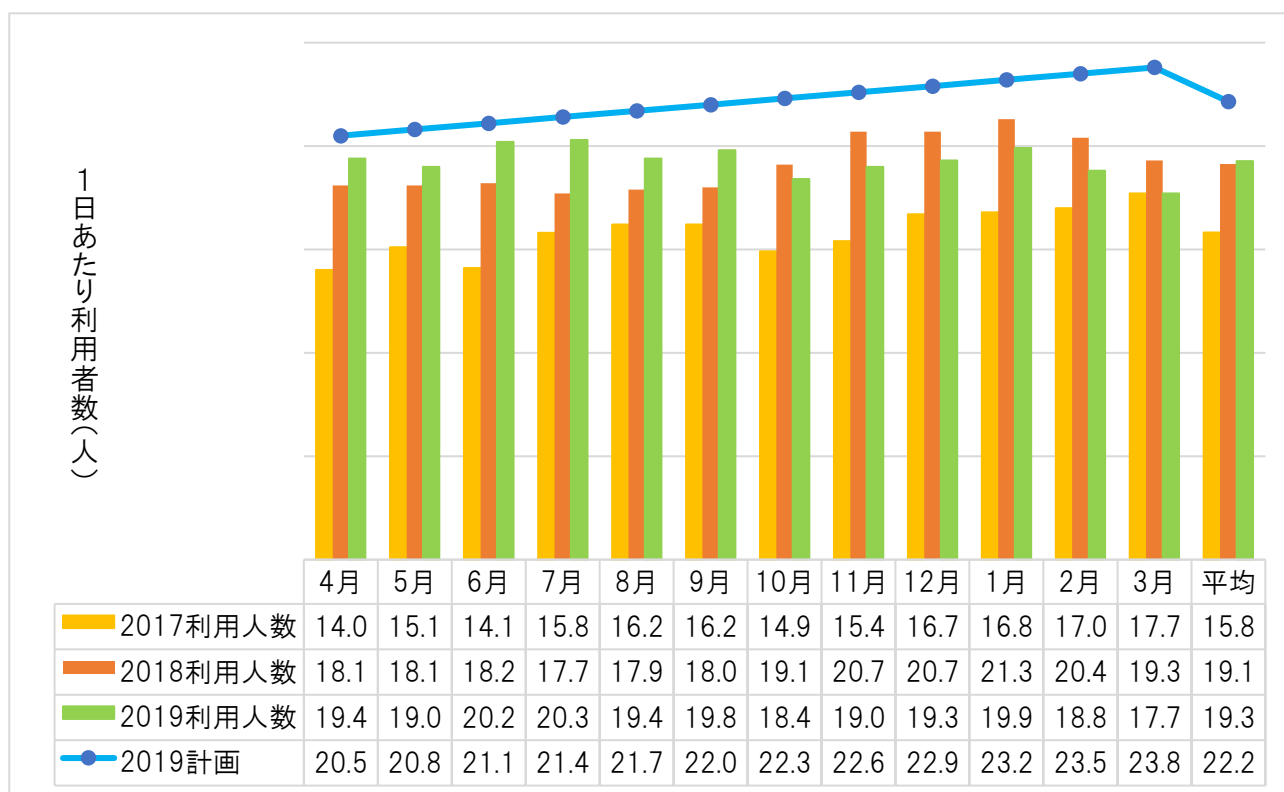


- ・当年度は利用率にバラつきがあるものの、年間平均で 93.5%となり、計画は達成できた。
- ・当年度の実利用者数は 112 名。うち、新規利用者数は 41 名、利用中止は 24 名であった。
- ・入院者のベッドをショートステイの空床利用に活用し、併せて緊急対応を積極的に行い、短期入所受入加算を算定するとともに、社会資源の有効活用に注力した。
- ・定員が 10 名と小規模で、経営効率は低い。一方で小規模なことを強みとし、若年性認知症等、地域で難渋するケースを受け入れることで、地域のケアマネジャーからの信頼を得ている。結果、当年度の平均介護度は 2.9 であり、さらに上昇傾向にある。
- ・資金収支実績 (単位：千円)

事業活動収入計	49,499	事業活動外収入	△2
事業活動支出計	50,999	事業活動外支出	6,721
事業活動資金収支差額	△1,500	事業活動外資金収支差額	△6,723
(対収入比)	△3.0%	当期資金収支差額合計	△8,224

③オレンジタウン笠寺デイサービスセンター

通所介護(定員 30 名 予防専門型通所サービスを含む)



・1日あたりの平均利用者数を22.2人と計画したが、年間平均で19.3名であった。一方、登録者数は年間平均で通所介護48.2名、予防専門型11.9名で、うち新規開始は24名、利用中止は20名であった。入院、施設入所、死亡を理由に中止となるケースが多い。

・新型コロナウイルス感染症による名古屋市からの休業要請のため、令和2年3月8日～22日まで、原則休業とした。ただしその間も、デイサービスがないと暮らしが成り立たない方を対象に、極少人数で営業を継続した。

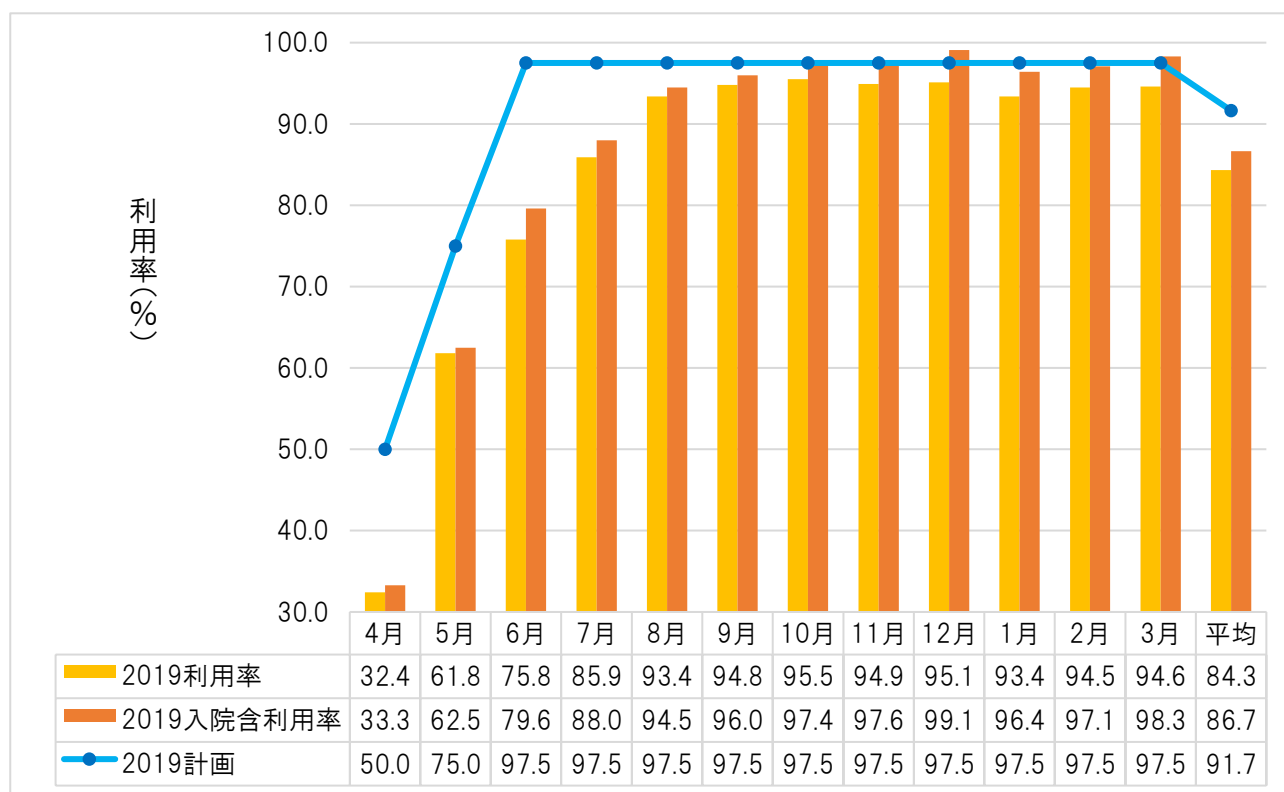
休業期間中の休業補償については、名古屋市新型コロナウイルス感染症対策介護サービス事業所助成金事業の申請を行った。(助成申請額1,600千円)

・同感染症により、休業要請期間以降も利用者数が10%程度落ち込んでいる。

・資金収支実績(単位:千円)

事業活動収入計	57,892	事業活動外収入	2
事業活動支出計	47,619	事業活動外支出	7,183
事業活動資金収支差額	10,273	事業活動外資金収支差額	△7,181
(対収入比)	17.7%	当期資金収支差額合計	3,092

④特別養護老人ホームオレンジタウン笠寺Ⅱ(平成 31 年 4 月 1 日開設)
介護老人福祉施設(ユニット型 定員 80 名)



- ・開設初年度の平均入居率は 86.7%、実利用率は 84.3%で、計画を下回った。実利用率が下がった要因は、入居者の身体状況悪化による入院である。
- ・入居者の平均年齢(年度末)は 86.3 歳、平均介護度は、年間平均 3.70、年度末 3.75 であった。年度後半から新たな入居者の大半が要介護 4 以上であった。
- ・実利用率は計画を下回ったが、当初から夜勤職員配置加算(Ⅱ)を算定し、10 月からサービス提供体制強化加算(Ⅰ)を算定したことにより、収入単価は計画を 3.36%上回ることができた。
- ・資金収支実績(単位:千円)

事業活動収入計	347,196	事業活動外収入	72,942
事業活動支出計	325,636	事業活動外支出	6,707
事業活動資金収支差額	21,560	事業活動外資金収支差額	66,234
(対収入比)	6.2%	当期資金収支差額合計	87,795

⑤ケアプランセンターオレンジ(居宅介護支援事業所)

- ・当年度は、開設に必要な人材の確保が出来ず、開設に至らなかった。

6. 人材の確保ならびに定着にかかる研修等の状況

- ・新卒採用のため、県内の高等学校、専門学校、大学への訪問や、新卒・既卒採用を問わず、就職フェアへの出展、広告媒体、紹介等、採用活動に取り組んだ。
しかし慢性的な介護人材不足のため、人員の充足に至らない状況が継続している。
- ・新卒職員を対象に、リアリティーショックを最小化し、スムーズな組織への定着につながるよう、メンター制度を運用している。
- ・従来からの EPA 外国人介護福祉士、同候補者に加え、今年度より技能実習生の受入れを開始した。それぞれに日本語能力、文化等も異なることから、日本での暮らしを支える生活指導員、介護技術を指導する技能実習指導員、技能実習責任者が連携して指導を行ってきた。結果、対象者 2 名ともに 2 号移行試験に合格することができた。
- ・優れた人材を育成するため、施設内研修の実施はもとより、施設外研修にも積極的に参加させ、正しい知識、技術の習得とともに、モチベーション向上にも取り組んでいる。
- ・法定研修では、複数回の開催、ビデオ学習、課題学習の提供など、変則勤務であっても全員が参加できるよう工夫している。
- ・研修受講後は参加報告書を提出させ、学びの振り返りの機会としている。
- ・法人全体の組織文化醸成を目的に、オレンジタウン笠寺において、行動指針策定プロジェクトを実施した。「Let's Reborn Project 2019」と銘打ち、次世代を担うユニットリーダー達を中心となって、理念の浸透、基本方針の共有を目的とした行動指針（クレド）を策定した。
その過程で、理事長をはじめ、経営層とのコミュニケーションが活発化し、メンバーは善常会の歩みと想いに触れる機会となった。
- ・さらに Let's Reborn Project のメンバーで日本ユニットケア推進センター主催「地域で愛される施設を作るための勉強会ーじっくり取り組みコースー」を通年受講。ユニットケアの本質を学び、理念を共有したケアマニュアルの策定、24 時間シートの精度向上など、複数年で取り組みを継続する。

①令和 1 年度施設内研修

【オレンジタウン笠寺】

研修日	時間	研修名・内容	人数
4 月 1～4 日	24 時間	新入職者研修(善常会グループ集合研修)	4 名
4 月 8 日	2 時間	新入職員研修 施設での食事と栄養(栄養科)	4 名
4 月 15 日	2 時間	新入職員研修 口腔ケアについて(亀井歯科衛生士)	4 名
4 月 23 日	2 時間	新入職員研修 排泄ケアについて(ユニ・チャーム株式会社)	4 名
6 月～7 月	1 時間	2019 年度事業計画説明会	全職員
7 月 3 日	1 時間	事故防止対策委員会① 「2018 年度施設内事故及びヒヤリハット事象報告」	全職員
7 月 29 日	1 時間	栄養科研修会「とろみ剤の正しい使用方法」	18 名
8 月 22 日	1 時間	感染対策委員会①「手洗いと食中毒」	全職員
9 月 5 日	1 時間	公益通報保護(古川監事)と個人情報保護	全職員
9 月 27 日	1 時間	排泄ケアの自立支援に向けて～排泄支援計画書とは～	21 名

研修日	時間	研修名・内容	人数
10月25日	1時間	褥瘡対策委員会①「褥瘡予防～最新の治療方法について」 (名古屋第二赤十字病院皮膚・排泄ケア認定看護師 本田あや子氏)	全職員
10月29日	1時間	理事長とリーダーが語る会(行動指針策定に向けて)	8名
12月4日	1時間	理事長講話(善常会の歩み)	10名
12月23日	1時間	事故防止対策委員会② 「センサー選定表とセンサー使用に関するフローチャート」	全職員
1月20日	1時間	感染対策委員会②「感染性胃腸炎の感染拡大を防ぐために」 (サラヤ株式会社)	全職員
2月26日	1時間	褥瘡対策委員会②「スキンケア」	全職員

【オレンジタウン笠寺Ⅱ】

研修日	時間	研修名・内容	対象
4月1日	8時間	事業計画(基本理念、基本方針)	全職員
4月2日	8時間	オリエンテーション(入居・ケアの流れ、身体拘束防止等)	全職員
4月17日	1時間	排泄ケア研修(水分摂取の大切さ)	看護職
5月16日	1.5時間	防災研修(初期消火、通報、避難誘導)	全職員
5月20.21.28日	1時間	非常災害機器取扱研修	全職員
5月22.30日 6月7日	1.5時間	事故防止対策委員会①(当施設における事故防止体制)	全職員
6月7日	1時間	ケアサービス研修(服薬管理と急変時の対応)	全職員
6月12日	1時間	排泄ケア委員会(排泄フローチャート)	介護職
6月19.24.26日	1時間	感染・褥瘡対策委員会①(機械浴槽の確認と薬液洗浄の方法)	全職員
8月22.30日	1時間	感染・褥瘡対策委員会②(感染管理の基礎)	全職員
9月5日	1時間	公益通報保護(古川監事)と個人情報保護	全職員
9月6日	1時間	感染・褥瘡対策委員会③(褥瘡予防について)	全職員
10月1.3日	1時間	事故防止対策委員会②(ヒヤリハットと事故の違い)	全職員
10月1.3日	1時間	虐待・身体拘束廃止委員会①(当施設の身体拘束について)	全職員
10月2日	1時間	看取りケアと精神的ケア(終末期看護について)	看護職
10月10.15.16日	1時間	看取り介護(看取り介護の指針、職員の役割について)	介護職
1月20.30日 2月7日	1.5時間	排泄ケア(排泄のメカニズム等、「ユニ・チャーム株式会社」)	全職員
3月	1時間	虐待・身体拘束廃止委員会②(スピーチロックについて)	全職員

②令和1年度施設外研修

【オレンジタウン笠寺】

研修日	時間	研修名・主催	人数
5月23日	3時間	ゼロから学ぶアドバンス・ケア・プランニング (南区介護事業所連絡会)	2名

研修日	時間	研修名・主催	人数
5月30.31日	2日間	地域で愛される施設を作るための勉強会「じっくり取り組みコース」 (日本ユニットケア推進センター)	4名
6月4日	1時間	介護職員と機能訓練指導員の連携(全国ノーリフティング推進協会)	2名
6月20日	1.5時間	介護事業者における権利擁護と法令順守(名介研)	7名
7月10.11日	2日間	ノーリフティング一般研修(全国ノーリフティング推進協会)	1名
7月～9月	7日間	ユニットリーダー研修(ユニットケア推進センター)	1名
8月2日	3.5時間	困難な苦情場面への対応を考える(名古屋市社協)	3名
8月～10月	7日間	ユニットリーダー研修(ユニットケア推進センター)	1名
9月25.26日	2日間	ノーリフティング一般研修(全国ノーリフティング推進協会)	2名
9月28日	3時間	ACP研修会概論編(名古屋市医師会)	3名
10月11日	4時間	24Hシート(ユニットケア推進センター)	1名
10月17.18日	2日間	地域で愛される施設を作るための勉強会(日本ユニットケア推進センター)	5名
10月22日	6時間	相談対応力向上研修(あいちACPプロジェクト)	2名
10月25日	3時間	誤嚥性肺炎の臨床パス作成の経緯と運用(中京病院)	2名
11月28日	3時間	機能訓練指導員の役割と個別計画(名介研)	1名
12月19日	終日	福祉サービス苦情相談事業研修会(名古屋市社協)	1名
1月11日	3時間	ACP研修会フォローアップ編(名古屋市医師会)	3名
1月23.24日	2日間	地域で愛される施設を作るための勉強会(日本ユニットケア推進センター)	6名
1月25日	2時間	摂食・嚥下機能支援に関する研修会(愛知県医師会)	5名
2月5日	3時間	通所系サービスの制度理解と適切な運営について(名介研)	2名
2月8日	2時間	フォローアップ研修(あいちACPプロジェクト)	2名
2月13日	4時間	人材確保・定着に繋がる指導方法と連携 (愛知県介護福祉士養成施設協議会)	3名
2月19日	3時間	子ども食堂フォーラム(名古屋市社協)	3名
2月20日	終日	なごや介護予防・認知症予防プログラム事業者研修会 (名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課)	2名

【オレンジタウン笠寺Ⅱ】

研修日	時間	研修名・主催	人数
7月10.11日	2日間	ノーリフティング一般研修(全国ノーリフティング推進協会)	1名
8月2日	3時間	福祉サービス苦情相談事業研修会(名古屋市社会福祉協議会)	1名
8月30日	終日	ユニットケア基礎研修(日本ユニットケア推進センター)	2名
9月20日	3時間	社会福祉施設栄養士グループ研修(名古屋s社会福祉協議会)	1名
10月～12月	3日間	初心者向け介護技術研修(名古屋市)	1名
10月10日	6時間	日本人の食事摂取基準(2020年版)研修会(厚生労働省)	2名
10月25日	3時間	誤嚥性肺炎の臨床パス作成の経緯と運用(中京病院)	1名
2月20日	終日	なごや介護予防・認知症予防プログラム事業者研修会 (名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課)	1名

7. 地域社会との連携、共生に向けた取組み

- ・町内会の廃品回収に毎月参加した。
- ・4月よりランチサロン「キッチンくぬぎ」を毎月開催し、当施設の専門職がミニ健康講座を担当。
- ・10月27日笠寺学区防災訓練に参加。
- ・11月9日なごや介護の日フェア2019（栄・矢場公園）にスタッフ4名を派遣。
- ・11月10日南シニア大集合・区民まつり（南区役所）にスタッフ1名を派遣。
- ・11月17日当施設秋まつりを近隣町内会に回覧板にて案内し、地域の方にも参加いただいた。
- ・11月15～17日みずほフェア'19（瑞穂区役所）にスタッフ1名を派遣。
- ・1月16～17日名古屋市立本城中学校職業体験学習6名受入。
- ・2月27日「笠寺子ども食堂」実施に向けた打合せ会開催（南社協）
- ・3月12日南区ボッチャひろめ隊「ボッチャサロン」を開催予定。（コロナ禍により延期）
- ・3月～サロン「南遊メンズクラブ」を開催予定（コロナ禍により延期）

開設年度より、地域との連携に向けたアプローチを継続してきたが、当年度はオレンジタウン笠寺Ⅱが開設したことで、今一度、地域の方々に当法人を身近に感じていただくきっかけとなり、様々な学区からお声かけいただけるようになった。

また社会福祉協議会から、活動場所を探しているサロン等を紹介していただき、それが活動へとつながろうとしている。

8. まとめ

オレンジタウン笠寺は開設より4年目、オレンジタウン笠寺Ⅱは1年目を終え、いずれも概ね順調に施設運営ができ、ようやく財政的に法人運営が軌道に乗り始めた。

結果として、当法人の事業活動資金収支差額は87,832千円、当期資金収支差額合計は101,204千円で決算した。

次年度以降も、社会福祉法人の目的を鑑み、善常会として地域から信頼され、地域に貢献できるよう、事業計画に基づき、着実に歩みを重ねていく所存である。